

児童発達支援事業所ぶらんこ 支援プログラム

令和7年1月31日作成

—事業所における基本情報—

■理念

「モンテッソーリ教育を療育の柱に、子どもの自己選択・自己決定・自主性の育ちを支援する」

■支援方針

- ・ぶらんこが「安心できる環境」になることを大切にしています。安心できる環境の中で、ありのままの姿を見せてくれることで、それぞれの発達に合わせた関りをしていくことが出来ると考えています。
- ・期待感をもって自ら行動できることを大切にしています。子ども自身が「やりたい」と思って遊びや活動に参加できるよう支援をしています。
- ・自己選択・自己決定・自己主張を大切にしています。安心できる環境の中で、自分で選ぶ、自分で決める、自分の気持ちを伝えることが出来るよう支援していきます。
- ・困った時や苦しい時に助けを求められることを大切にしています。子ども達が健やかに生き生きと育っていく上で大切な力だと考えています。
- ・通所されるお子さんは一人一人みんな違います。遊びの中から、一人一人の状態や課題を見立て、そこに応じたアプローチを行います。
- ・保護者との面談を大切にしています。お子さんの成長を一番に支えていらっしゃるお父さんお母さんが安心して子育てできるよう、サポートしていきたいと思っています。

■営業時間

8：30～17：30

■送迎実施の有無

あり

—支援内容—

■本人支援

【健康・生活】

- ・視覚的な情報提示、スケジュールの提示など、構造化された環境設定を行っています。
- ・身支度、着替えなど、身の回りのことを自分で出来るようになるようサポートしています。

【運動・感覚】

- ・感覚遊び、巧技台遊び、身体を動かす遊びなど、五感やその他の感覚を使う遊びを行っています。
- ・季節を感じる遊びを行っています。
- ・製作、手遊び、モンテッソーリ教具への取り組みを通して、手先を使った活動を行っています。
- ・感覚面の敏感さに配慮し、無理なく安心して参加できるようにしています。

【認知・行動】

- ・発達検査を実施し、本人の発達に合わせた関りや活動を行っています。
- ・モンテッソーリ教具への取り組みを通して、認知発達の支援を行っています。
- ・活動の内容や先の見通しをわかりやすく提示するなどして、自分で分かって動けるサポートをしています。

【言語・コミュニケーション】

- ・言語発達や理解に合わせた、わかりやすい情報提示を行っています。
- ・絵本や絵カード、言葉遊びなどを行い、楽しく様々な言葉に触れる機会を作っています。
- ・要求や気持ちを人に伝えられるよう、共感する、代弁する等の支援を行っています。

【人間関係・社会性】

- ・大人との安心できる関係を土台に、他児との橋渡しをしています。
- ・ルール遊び、集団遊びの中で、決まりを意識する、約束を守る等の練習をしています。

■家族支援

- ・親子療育で、保護者と一緒に子どもを観察し、状態を共有する機会を作っています。
- ・定期的に面談を実施し、保護者と成長の様子を共有できるようにしています。
- ・療育参観を行い、活動の様子を共有できる機会を設けています。
- ・専門職（OT、ST）による相談会を実施しています。
- ・保護者向けの学習会を実施しています。

■移行支援

- ・移行先の学校への見学の調整を行い、見学に同行しています。
- ・就学支援シートの作成、連絡会の実施を行い、支援内容、検査の結果等、移行先への情報の引継ぎを行っています。

■地域支援

- ・関係機関と本人の成長の様子を共有しています。
- ・支援内容、検査の結果等、情報の共有を行っています。

■職員の質の向上に資する取り組み

- ・研修へ参加（法人内、法人外）しています。
- ・外部講師によるスーパーバイズの実施をしています。

■主な行事等

- ・年に2回、保護者や地域の方と意見交換をする機会を設けています（あおぞら会）。
- ・保護者茶話会を実施し、保護者同士の交流が出来る場を設けています。